

R2

アクションプラン全体計画（平成28～令和2年度）

推進項目	23 受益者負担の適正化				重要度	A			
番号・取組事業名	23003	学校体育施設の受益者負担等見直し		作成日	R2.4.1		更新日	R3.3.31	
担当部署	160600	地域づくり推進部 スポーツ課		責任者	小貫 省三		担当者	推進担当	
取組年度	H28	～	R2						
効果	歳入増加								
最終目標	体育施設の利用促進を図るとともに、他制度(目的外使用)との整合性を図ったうえで、学校施設開放対象校全校において受益者負担の導入を行なう。								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度	計画どおり	目的外使用所管課との協議。他市事例等を参考に検討。							
平成29年度	計画どおり	制度運用の一元化について、学校教育部と協議。管理・運営方法について実態調査。							
平成30年度	計画どおり	制度運用の一元化について、学校教育部と協議。管理・運営方法の調査・研究							
令和元年度	計画どおり	現状の整理や運営の見直し、開放のあり方などを調査研究するため、「懇談会」を立ち上げ、意見交換を行った							
令和2年度	その他	事業全体の再検証を行い、事業の効率化に向け優先的な事務改善を実施したほか、受益者負担の考え方について整理した。							
成果指標	指標名	受益者負担制度導入学校数					単位	校	
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	最終値	
	当初計画値		0	0	63	63	63	63	
	変更計画値	0		0	0	0	64	64	
実績値		0	0	0	0	0	0		
効果額	歳入増加	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	歳出削減	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	計	当初計画額	0	0	0	0	0	0	
		変更計画額	0	0	0	0	0	0	
		実績額	0	0	0	0	0	0	
見込まれる その他効果 (金額以外)									

R2

アクションプラン(令和2年度)

推進項目	23 受益者負担の適正化				重要度	A			
番号・取組事業名	23003	学校体育施設の受益者負担等見直し	作成日	R2.4.1	更新日	R3.3.31			
担当部署	160600	地域づくり推進部 スポーツ課	責任者	小貫 省三	担当者	推進担当			
	区分	取組内容・目標							
令和2年度	その他	事業全体の再検証を行い、事業の効率化に向け優先的な事務改善を実施したほか、受益者負担の考え方について整理した。							
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	目的外使用所管課との協議・調整(継続)			○	○	○	○		
2	先進地の調査研究(継続)			○	○				
3	懇談会の開催				○	○			
4	学校施設開放の管理・運営方法の見直し(有料化等含む)			○	○	○	○		
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	遅れている	コメント	<p>昨年度設置した「懇談会」にて、学校開放のあり方や目的外使用との一元化、学校管理職の負担軽減に向け、現状の整理や運営の見直しについての意見交換会を予定していたが、新型コロナウイルス対策のため未実施となっており、令和3年2月中旬ごろの開催を目指し調整を進めている。</p> <p>引き続き、学校や教育委員会と連携し、課題解決に向けて協議を進めていきたい。</p>					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	受益者負担制度導入学校数		計画値	単位	校	実績値	単位	校
					64			0	
	達成状況【成果】	その他		コメント	<p>今年度、目的外使用との一元化及び受益者負担導入の手法について検討を進めた。目的外使用との一元化については、各校ごとに個別の事情を抱えているため、来年度中に全校一律の運用が可能かのヒアリングを進めていく。また、受益者負担導入については、本来教育活動の延長としているなか、施設使用料そのものを徴収する是非や料金徴収に伴う人件費や諸経費等の歳出が歳入を上回ることが懸念される。</p> <p>引き続き、受益者負担の手法について検討を進めつつ、制度導入とコストのバランス等に係る検証を続けていくこととする。</p>				
	進捗状況【活動】	その他							
計画変更(次年度以後)	取組内容			コメント					
	計画値								
評価	評価者	鬼沢 徹雄		※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	C		コメント 指示事項	<p>学校体育施設の目的外使用の一元化及び受益者負担について、目標達成年次を明確にして、進捗管理に努めながら鋭意取り組まれない。</p>				
	方向性	取組み強化							

R2

アクションプラン全体計画（平成28～令和2年度）

推進項目	23 受益者負担の適正化				重要度	B			
番号・取組事業名	23004	手賀沼エコマラソンの経費削減		作成日	R2.4.1		更新日	R3.3.31	
担当部署	160600	地域づくり推進部 スポーツ課		責任者	黒須 美浩		担当者	推進担当	
取組年度	H28	～	R2						
効果	歳出削減								
最終目標	手賀沼浄化啓発、持続可能な市民マラソンとして定着していくため、大会運営に係る経費の削減と参加費とのバランスを調整し、適正な行政負担のあり方を検討していく。								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度	計画どおり	新コースの設定。参加者（一般枠）の1,000名増員。大会の自主運営についての検討。							
平成29年度	計画どおり	参加者（一般枠）の1,000名の増員。大会参加費500円値上げ（5,000円）。大会運営費の精査。							
平成30年度	計画どおり	平成29年度と同様。適正な規模（定員10,000人・参加費5,000円）での大会運営。大会運営費の精査。							
令和元年度	計画どおり	大会に係る収支や大会運営の見直しし、適正な負担金の額を算定。							
令和2年度	完了（事業終了）	適正な大会参加費及び大会負担金の額を確定。							
成果指標	指標名	開催市負担金の削減					単位	千円	
	年度	平成27年度 当初予算（基準）	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	最終値	
	当初計画値	人口一人当たり	—	4,500	4,500	4,500	1,000	1,000	
	変更計画値	の負担金27円	—	0	0	0	9,850	9,850	
実績値	11,010千円	—	0	0	0	4,758	4,758		
効果額	歳入増加	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	歳出削減	当初計画額		0	6,500	6,500	6,500	10,000	29,500
		変更計画額	11,010		0	0	0	1,160	1,160
		実績額		0	0	△ 342	△ 438	6,252	5,910
	計	当初計画額		0	6,500	6,500	6,500	10,000	29,500
		変更計画額	11,010		0	0	0	1,160	1,160
		実績額		0	0	△ 342	△ 438	6,252	5,910
見込まれる その他効果 (金額以外)									

R2

アクションプラン(令和2年度)

推進項目	23 受益者負担の適正化				重要度	B			
番号・取組事業名	23004	手賀沼エコマラソンの経費削減	作成日	R2.4.1	更新日	R3.3.31			
担当部署	160600	地域づくり推進部 スポーツ課	責任者	黒須 美浩	担当者	推進担当			
	区分	取組内容・目標							
令和2年度	完了 (事業終了)	適正な大会参加費及び大会負担金の額を確定。							
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	我孫子市及び実行委員会との連携・協議			○	○	○	○		
2	適正な負担金の額の決定			○					
3	新たな負担金の額での実施・運営の検証					○	○		
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	進んでいる	コメント	令和元年度に、必要経費を含む事務局の運営費は負担金で、大会の開催に係る事業費は参加費等で充当するとして我孫子市及び実行委員会と受益者負担の適正化を決定した。令和2年5月に、前年度の決定に基づき、人口やランナーの増減に左右されない適正な負担金額を確定し、負担金協定を締結した。 なお、令和2年度は大会が中止となり、中止に伴う必要経費を精査した負担金額を支出している。					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	開催市負担金の削減		計画値	単位	千円	実績値	単位	千円
					9,850			4,758	
	達成状況【成果】	達成		コメント	令和元年度に、必要経費を含む事務局の運営費は負担金で、大会の開催に係る事業費は参加費等で充当するとして我孫子市及び実行委員会と受益者負担の適正化を決定した。令和2年5月に、前年度の決定に基づき、人口やランナーの増減に左右されない適正な負担金額を確定し、150万円ほど削減することができた。 なお、令和2年度は大会が中止となり、中止に伴う必要経費を精査した結果、実績値の金額となり、最終的に591万円の削減となった。				
	進捗状況【活動】	完了 (事業終了)							
計画変更 (次年度以後)	取組内容			コメント					
	計画値								
評価	評価者	小貫 省三		※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	B		コメント 指示事項	計画通り負担金の適正化が進められている。今後、新たな負担金額での実施及び検証を進めていき、定期的に見直しを図ってほしい。				
	方向性	完了 (目的達成)							